

Y.Y様 H26年6月9日 第1子出産
H27年9月20日 第2子出産

助産所とうみで、二人の息子を出産しました(^-^)

1人目の時は里帰りする予定がひよんな出会いから助産所で産むことに…1人目で親も近くにいないしとても不安でしたが、たまたま日曜日で夫も一緒に立ち会ってくれて無事出産♪
へソの緒夫に切ってもらって(これで少しは父親の実感湧いてくれるかなと少し期待)すぐに母子同室で愛しさ満点♪
個室で畳なので、面会に来てくれる家族も友達もゆったり(^-^)

そして、2人目も絶対助産所で産みたい!と夫にも親にも協力お願いして実現♪

またまた日曜日で夫立ち会いでき、出産後のアロママッサージもアロマ風呂も 1人目同様至れり尽くせりの数日(^-^)

2人目は退所後すぐ黄疸で地元の大きな病院で数日入院しましたが、助産所を経験した私にとって大きい病院でのシステムの違いに衝撃の連続(*_*)

助産所で一回産んじやうと他では産めないと再認識(*_*)

3人目も絶対助産所で産みたいけど…ど〜なるかなあ〜♪

CH様

平成27年11月29日 第2子出産

助産所とうみに初めて足を踏み入れた時、木の温もりを感じ、とても落ち着く空間に感激しました。「こんな雰囲気の素敵なお産ができたらいいな。」と、ずっと思っていました。そして、こちらで二人目を出産できたこと、私にとってとても大きな財産になりました。

初めての診察は、信州上田医療センターで行いますが、その後検診のほとんどは助産所の助産師さんが行ってくれます。助産師さんによる妊婦健診はとても丁寧で、ゆったりとした時間が流れます。リラックスでき、聞きにくいことも聞ける。毎回の健診がとても楽しみになりました。

妊娠後期、血糖値が高いと指摘され、助産所で産めるかどうかという時、落ち込む私を心から支えてくれました。そして、諦めずにぎりぎりまで様子を伺ってくれたのです。医療センターの先生も、助産所のみなさんも私が希望する形でのお産を後押ししてくれ、予定通り助産所で産むことが決まりました。決まって直ぐ、予定日より半月も早く陣痛が始まりました。助産所のみなさんは、私たち家族に一切不安を抱くようなことはせず、常に安心させてくれました。そして、おさまってしまった陣痛を再び起こすため、「気分転換してきて。」と、外出を許可してくれました。陣痛を耐えながら食べたランチは、忘れられない思い出になりました。

お産は、助産所のみなさんの的確な処置や指導により、スムーズに進みました。陣痛のたびに赤ちゃんが産道を下りてくるような感覚がありました。自分のペースに合わせて、好きな姿勢でお産を進めてくれる。リラックスができ、途中、笑いも絶えません。『ポン!』と、音が鳴って破水、その衝撃や赤ちゃんの頭が出てくる時の感じ、ひとつひとつ味わうことができた気がします。立ち会っていた主人は、赤ちゃんの顔が出てきた瞬間に『ぷはー』と、息をしたところを見たといいます。赤ちゃんの強い生命力を感じました。からだがスルッと出て、すぐに私の胸の上に乗せてもらった時の感動は今でも忘れられません。

出産後も丁寧に対応してもらいました。毎日アロマオイル入りのお風呂を用意してくれ、アロママッサージまでしてもらい、最高のリラックスタイムでした。おかげで子宮の戻りも早く、後陣痛もつらくありませんでした。いつまでもここに居たいと感じてしまうほど、居心地の良い助産所でした。

一人目のお産で、私が苦しむ姿をみていた主人は、それ以降、精神的に落ち着かない日々が続き、お産に対しての不安も強い状態でした。しかし、今回リラックスしながら無事にできたことで、その不安が一扫されたようです。大げさかもしれませんが、これからの家族に光を当ててもらったような気がします。支えてくださった助産所のみなさんに深く感謝しています。これからもこちらでお産させてもらいたいです。

そして、この素晴らしい施設が、娘の世代、その先まで続くことを願っています。

H.N さま 平成 26 年 12 月 1 日 出産

またここで産みたい！と思ったお産でした^^

助産所を選んだ訳

私は上田市在住。近くにもお産ができる場所はあるのに、わざわざ東御を選んだ理由は、二つあります。

一つは、周囲からの高評価。

姉はお産マニアを自称するほど、お産について熱い人（笑）。

なかなか子どもに恵まれなかった私ですが、放っておいても入ってくるお産情報・・・。

病院で産むのと、助産所で産む違いや、自然分娩のすばらしさについて、自然と詳しくなっていました。加えて、私が妊活中から通っていた鍼灸院も、助産所とうみは本当に素晴らしいよ！と大絶賛。

やっと妊娠した時には、産む場所として、助産所とうみがすぐに思い浮かびました。

もう一つの理由は、納得のいくお産をしたいという思い。

助産所とうみで産んでみたいな、と思ったものの、自宅からは遠いので、通うのも、緊急時も、大変よ・・・！と、母には心配されました。

今回は、初めてのお産だし、二人目の時に助産所にしたらいいんじゃない？とも。

命を授かっただけで、本当に嬉しく、産み方なんてそこまで拘らなくてもいいかな・・・と、思っていたこともあり、母の言葉に、「そうか、近くで産もうかな？」と考えていた私。

それでも、一度、見学がてら受診してみようと、助産所とうみに行った帰り道。

「やっぱり、ここで産みたい！！」と、もう、決めていました。

二度とは、ないかもしれないお産。

たった一度かもしれない。

そう思った時、やっぱり、自分が産みたいところで産もう。と決めたのです。

その思いは、家族にも伝わって、無事に助産所で産むことになりました。

お産までの日々

そこから始まった私の妊婦ライフ。

助産所に通うのは、毎回、とっても楽しみでした。

入るだけで気持ちのいい、木の暖かさに包まれた空間。

そこで働く助産師さん達は、みんな、穏やかで、のんびりとした雰囲気。

スタッフさん同士の、仲の良さ、信頼関係が感じられて、安心して身を任せる事ができました。

私は自分の考えを曲げないタイプなので、よくお医者さんと衝突してしまうのですが、そんな私の性質にも、嫌な顔をせず、寄り添ってくれました。身体をマッサージしてくれながら、頭で考えすぎだよ～と言ってもらった事も。

「大丈夫、大丈夫^^」と、優しく、でも頼もしく言ってくれた言葉が、今も胸に残っています。よく歩いてね、という指導を受けるのですが、それをちゃんと実行に移せるように、なんと、ウォーキングをする日もあるのです。

希望者は集まって、近くの公園まで、歩きます。

スタッフの方や妊婦さん同士で、他愛のないおしゃべりしながら、ウォーキングをしたのも、いい思い出です。

他にも、同じ時期に産む他の妊婦さんと交流する機会が何度かありました。

お産に対しての知識を助産師さんに教えてもらいながら、不安も話せる仲間ができたのも、とても心強かったです。

お産本番！

本番に至るまでに、何度かフライング受診をしました。

あれ？これ、おしるし??と心配になって、慌てて時間外に受診しても、

その度に「まだ違うね～、もう少しだね！」と、嫌な顔せずに対応してくれて、ホッとしました。そして、いよいよ本格的に陣痛が来るようになったのですが、陣痛の合間に、スムーズにお産が進むように、なんと、階段を上り下りしたり、スクワットをしたり、するのです。

「はい、もう一回、頑張って!!」と、励ましてくれるのですが、

優しい助産師さんが、スパルタ教官に見えました・・・(笑)

その甲斐あって、やっとお産に。

薄暗い部屋で、家族に見守られながら、旦那の首にかじりつき、前傾姿勢で座った状態で産みました。

陣痛中は、助産師さんの絶妙なマッサージが本当に痛みを逃してくれて、まさに神業!!

指導を受けながら、主人もだんだんマッサージが上手になっていきました。

まるで牛のような声を上げながら、まさに人間から、動物に帰った瞬間。

会陰を切ることもなく、自然と産まれて出てきてくれた我が子。

助産師さんが取り上げてくれて、すぐに股下から私にパスしてくれました。

やっと我が子に逢えた喜びと、永遠と続くかと思ったお産が終わった事の安堵と、

自分の子供がこの世に誕生したという驚きに、

「すごい、すごい・・・！」

としか、言葉が出てきませんでした。

その後、自分と子どもをキレイに整えてもらい、薄暗い部屋で、親子三人の初めての時間をしばらく過ごしました。モニターをつけて、呼吸状態や酸素濃度を管理しながら、時々様子を見に来てもらいながら、胸の上で、キラキラとした黒目をあけた我が子。

ちゃんと、母乳も吸ってくれました。初めての体験の連続に、感動・・・。

その後、すやすやと、穏やかに目を閉じて、私の胸の上で、休んでいました。

身体をなでながら、私は、何とも言えない幸福感に包まれていました。

お産の後

助産所とうみでは、かなり自由に家族と過ごせます。

初めての育児がスタートして、不安も大きかった私。最初の何日かは、同じ部屋で、主人が泊まっていてくれました。

夜中、泣き止まない時や、寝てくれない時、不安な時・・・いつでも、呼べばすぐに来てくれる助産師さん。

呼ばなくても、定期的に様子を見に来てくれるので、とてもありがたかったです。

そして、母子同室とはいえ、ずっと一緒では休まらない時。

息子を預かってくれ、寝かしつけておいてくれるのです。

その間に、お風呂に入ったり、お昼寝したりもできます。

また、こちらのメンタルや体調を見ながら、オイルマッサージもしてくれます。

それが本当に、気持ちよくて!!!

慣れない育児で、背中が凝ってしまうので、暖かいオイルと程よい強度のマッサージが、至福です。天にも昇る境地とはこのことかと・・・。

今まで受けたマッサージの中で、ダントツに、気持ちよかったです。

お産じゃなくても、あのマッサージは有料でもいいから受けていたい・・・

本当に素晴らしかった。

実は、お産の後、寝不足と、人に頼れない性格から、かなりメンタルがやられてしまい、助産師さんに当たってしまった事もあったのですが、そんな私の心にも、寄り添ってくれる手厚いケアでした。

とても感謝しています。

最後の夜は、『おっばいの神様』と有名な助産師篠原さんが、授乳のコツや、心の話をしてくれました。

何を言っても、笑って受け止めてくれて、でも、しっかりとアドバイスもしてくれて。

退院の日は、家に帰る楽しみと、助産師さんのサポートがなくなる不安と、複雑な心境でした。

退院後

助産所とうみでは、同じ月に産んだママ同士が、毎月集まれる会があり、そこで出会ったママ友と、子育ての悩みや喜びを、沢山分かちあってきました。

子どもを交えての交流は、三歳になった今でも、続いています。

産むまで、だけではなく、産んだ後も、手厚いケアが受けられる助産所とうみ。

もう一度、子どもを産めるのであれば、またここで！と決めています。

本当に、第二の実家のような温かい関わりに、感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました！



N.M 様 H29年3月29日 出産 産後ショートステイ利用

私は先に破水したあと、陣痛が来なかったので他施設での出産になったのですが、妊婦健診や産前の勉強会、自主トレのぞうきん掛けなどで助産所とうみに通ってお世話になっていたため、退院後すぐ、産後のショートステイを利用させていただきました。

まず感激したのは自分がお風呂（湯船）に入れたことでした。お尻にがつつり傷があったので、湯船に入るのは怖かったのですが、騙されたと思ってぜひ入ってみて と勧めていただいたのでした。傷にひびかないし、いい匂いのオイルを入れていただいてゆっくり浸かることができました。ほんとに騙されてよかったです。

娘は預かっていただき、マッサージを受けながらの仮眠、これも感動しました。授乳の仕方や、添い乳の仕方もあるべく楽な方法をご指導いただきました。病院ではきちんと3時間毎の授乳と聞きましたが、こちらでは欲しがるとき欲しがるだけ など自分もあまり気負わないで接したからでしょうか、娘も初の添い乳でぐっすり眠ってくれました。

病院では面会制限もあってずっと孤独を感じていたので、助産師さんたちに暖かく迎えていただき本当に安心感につつまれた2泊のショートステイでした。泣く泣く家に帰ったことを覚えています。

私個人的なデメリットとしては、この助産所で産みたい！病院でなんてぜったい産みたくない！ という思いが強かったため、転院になったときは悲しく思いましたし、他施設と助産所の指導方針の違いにとでも戸惑って、まるで転院＝悪 というような気持ちにまでなってしまったことでしょうか。今では、もうとにかく可愛い娘が無事産まれてくれたことに感謝していますし、産後、助産所とうみの助産師さんたちや、各教室で一緒するお母さんたちにもアウェー感もなく接していただいていますから、そんな悲壮感漂っていた自分が懐かしいですが。

次回もし機会があったら、今度こそ助産所とうみで産みたいな と思います。